

はじめまして日本！

～この素晴らしい日本文化をたくさんの人に知らせよう～
 『鳥獣戯画』を読む」「日本文化を発信しよう」（光村図書）

計18人

本単元で育成する資質・能力

読解力、協働する力

1 本単元の指導目標とめざす児童の姿

<p>【指導目標】 思B（1）イ， 思C（1）ウ</p> <p>◎筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考慮することができる。</p> <p>◎目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり，論の進め方について考えたりすることができる。</p>	<p>【キーワード】</p> <p>①文章全体の構成や展開を考えて書く。</p> <p>②論の進め方について考えて読む。</p>
<p>【単元終了後にめざす児童の具体的な姿】</p> <p>①事象を説明したり意見を述べたりする文章を書く際に，伝えたいことが効果的に伝わるように，「考えと理由や事例」「疑問と解決」などのつながりを意識して文章全体の筋道を整えることができる。</p> <p>②目的に応じて必要な情報を見つけるために絵図と文章を照らし合わせて資料を読んだり，論の展開や表現の工夫にかくされた説得力を高めるための筆者の意図を捉えて読み直したりすることができる。</p>	

2 想定される児童のつまずきと手立て

- ・自分の考えを述べる文章を書く場合に，文章構成の工夫などに意識を向けることができず，自分の書きぶりについて課題意識が低い。
- 単元に入る前に，「柿山伏」を学習し，そのよさを発信する文章を事前に書くことにより，書きぶりに対する課題意識を明確にもたせる。また，課題意識をもった上で『鳥獣戯画』を読む』を学習することで，教材文の内容を捉えるだけでなく，論の展開や表現の工夫に意識を向けさせる。
- ・内容の読み取りについての個人差が大きいいため，展開や表現の工夫に意識を向けるなどの問題解決が充実しにくい。
- 学習計画に沿って次時の課題を予め告げ，家庭学習で内容を押さえてから授業に入るようにさせる。
- 自学をすすめ，協働するか個別に取り組むかなどの学習方法を選択させる。

3 単元計画（全11時間）

次	時	学習内容や学習活動	学習する事柄	評価規準（評価方法）
0		・「柿山伏」を体験し，日本の伝統文化に親しむとともに，日本文化の魅力を他者に発信するための文章を一度書き，課題意識をもつ。	・課題のもち方（課題発見）	
一	1	・単元の見通しをもつ。 ①教材文『鳥獣戯画』を読む』を範読する。 ②日本文化の魅力を発信するという視点で，初めて知ったことや感心したことを出し合う。 ③日本文化の魅力が伝わるよう，そのよさを学習	・学習計画の立て方	・単元のゴールをイメージして意欲を高めている。（発言・ノートの感想）

		発表会で発信するという学習のゴールを決め、計画を立てる。		
二	2 3 4	・教材文を読み、内容と筆者の主張を読み取る。	・文章全体の構成の捉える ・要旨を把握する	・段落ごとに小見出しをつけ、内容をまとめている。(ノート)
	5 6	・自分の発信に生かす効果的な説明の仕方①(筆者の表現の工夫)について話し合う。	・効果的な説明の仕方にはどんなものがあるか知る ・表現の工夫の事例を見つける	・体言止めなどの表現の工夫がされた箇所について自分なりに理解したことを説明している。(ノート)
	7 8 本時	・自分の発信に生かす効果的な説明の仕方②(筆者の論の展開の仕方)について話し合う。	・論の展開とは何かを理解する ・論の展開の事例とそのよさを関係付けて理解する	・筆者の論の展開の仕方とそのよさについて自分なりに理解したことを説明している。(ノート)
三	9 10	・効果的な説明の仕方について、真似したいと思う仕方を使って、日本のよさを説明する文章を書く。	・表現の工夫および論の展開の活用	・効果的な説明の仕方を用いて文章を書き直している。(ノート)
	11	・日本文化のよさについて書いた文章を読み合う。(後日、学習発表会で発表する。)	・目的や意図に応じるという観点での感想や意見の述べ方	・文章構成や論の展開についての感想や意見を述べている。(発言)

4 言語活動の見本

【学習発表会のために書いた事前原稿】

狂言は江戸時代に作られた日本の古典芸能です。狂言は特別な人に起こることではありません。人間はかしこさも愚かさもみな同じようにもっていてそれを理解していればいたわりあえるのです。狂言は難しいけど、分かれば面白いです。今日やった柿山伏も人の愚かさや賢さがわかる劇でした。

【0次で話し合った狂言のよさについての板書】



【学習発表会での説明原稿】

僕たちは狂言から和の心を学びました。それは、「人の失敗などを広い心で許す心」です。例えば、今日の山伏は人の柿を食べたことをごまかそうとしますが、柿主はそれを責めすぎません。怒ってはいるけれど、からかってやりすごしています。「やりすぎない」ことが肝心だと思います。

でも、僕たちの生活の中ではどうでしょうか。「やられたらやり返す、倍返しだ！」が今の流行り文句ですが、相手を立ち上げられないぐらい痛めつけるようなことがよいかのように考える人が増えているのは、日本のよさがなくなりかけているのではないかと思います。

人はだれもが同じように愚かさをもっていることや、それを恥じる気持ちがあることを知っておいて、「寛大さ」という日本のよさを僕たちは引き継いでいきたいと思っています。

5 本時の学習（8/11時）

（1）本時の目標

鳥獣戯画のよさを伝えるために筆者の論の展開の仕方には工夫があることを理解し、主張を納得させるための工夫を考えることができる。【思C（1）ウ】

（2）学習展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
0	<p>1 めあてを確認する。</p> <p>○前時の効果的な説明の仕方②「論の展開の工夫」を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>筆者の論の展開の工夫をとらえ、よさを考えよう。</p> </div> <p>② 学習の見通しをもつ。</p> <p>○『鳥獣戯画』を読む』はどんな論の展開をしていると言えるか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑨段落の主張に向かって、絵と漫画、絵巻物とアニメを類比させている。 ・日本の文化であるアニメや漫画がすごいから、850年も前にそれをした鳥獣戯画はさらにすごくて、人類の宝なのだと論を展開させている。 ・読み手にとって身近なものとの類比を通して、主張を納得させている。 	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点を整理した表を掲示しておく。 ・段落相互の関係についてキーワードのカードを用いてレイアウトを考えさせる。 ・深読みのコツは板書して明示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「身近な事例を引き合いに出して比較し、読み手の納得を得る。」という論の展開がある。</p> </div>	
15	<p>③ 理解を確認する。</p> <p>○「人間の愚かしさを描く（山本東次郎）」はどんな論の展開をしていると言えるか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代・・・リアルな暴力シーン ・古典・・・体に触れもしない <p>→不快な思いを与えぬよう、遠回しに描こうとする配慮がある。それが心配りという日本のよさだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手にとって身近なものとの対比を通して、主張を納得させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で用いる説明文は家庭学習で読ませ、段落の要点や主張を整理させておく。 ・個々で考えたり、相談したりしてよいとアナウンスする。 ・他のグループが考えた段落相互の関係についてのレイアウトを掲示し再考させる。 	
40	<p>④ 理解を深める。</p> <p>○自分の論の展開を見直し、身近な事例を挙げたり、問いを立てたりするなどの工夫をこらした論の展開を考える。</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <p>○論の展開の特徴に気付いて文章を読み直したり、文章を書いたりした感想をノートにまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例や誰もが納得済みの事例と類比や対比させ、筆者の主張を納得させている。 ・論の展開の特徴を頭に入れて読み直すと、事例の意味が明確になって文章の理解が深まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論の展開をする上でのキーワードをカードに描かせ、レイアウトしながら説明させる。 ・学習発表会で自分が取り上げる文化についての説明文に取り組みせ、必然性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の論の展開の仕方とそのよさについて自分なりに理解したことを説明している。（ノート）